

# 長後まちだより

まちの輪・ひとの和・みどりの環

2016年1月25日  
長後まちだより7号  
発行/長後地区郷土づくり推進会議  
責任者/市川 勤  
事務局/長後市民センター  
電話/0466-44-1622  
FAX/0466-46-7034

## 長後地区全体集会を開催!!

「語ろう、長後の未来を！」をテーマに、2015年11月29日(日)に、長後市民センターで「平成27年度長後地区全体集会」を開催いたしました。参加者は、地域の住民を中心に総勢80名にものぼり、活発な意見交換が行われました。

第1部は、「藤沢市からの進捗状況報告」として、都市計画道路である「高倉下長後線」「石川下土棚線」の進捗状況に加え、長後市民センター前のバス通りである「市道長後725号線歩道整備」の進捗状況、長後市民センター北側「県企業庁職員住宅用地の土地利用」について市の担当課より説明がありました。

第2部のテーマは「長後地域活性化事業の進捗状況について(活動報告)」とし、「地域活性化」と「安全・安心、福祉」について取り組んできた2部会の部会長より、合計10項目の長後地域活性化事業について活動報告をいたしました。

参加者の皆様からのご質問やご意見と、それについての回答の一部をご紹介します。

### 第1部 質疑応答

Q. 石川下土棚線の整備において、遺跡調査をしているが、北側に掘り進めていくと出土の可能性があり、工事が遅れるのではないかと。

A. 現在、文化財調査を行っているが、記録保存すべきものは出土していない。今後、教育委員会等と調整しながら、必要な箇所について進め、出土するものによっては相当時間がかかり、工事の進捗に影響がでると考えている。

Q. 高倉下長後線について、道幅が12メートルから15メートルに変更された。道幅を変更した理由は何か。

A. 自転車走行空間を整備するなど、時代の変化に対応した道路が必要であり、その内容で警察当局とも協議をしている。

Q. 市民センター北側の県企業庁の用地が、今後、



駐車場や防災関係等に使用されるということで、大変うれしく思うが、相模幼稚園の隣の駐車場はどうなるのか。

A. 今回取得する土地に44台分の駐車場を整備する予定であり、相模幼稚園の隣の駐車場については、一旦市に戻す方向で協議をしていきたいと考えている。

### 第2部 質疑応答

Q. 来年度設置に向けて、ボランティアセンターを考えているようだが、今後、介護保険制度の変更があり、地域で支える体制となるが、その体制づくりをもっとスピード感をもってやる必要があるのではないかと。

A. 地域の方々がボランティアとして活躍できる場をどのように広げるかなどの課題はあるが、地域で支えるといった体制づくりを、ボランティアセンターが中心となり、その活動や人材育成に取り組んでいきたいと考えている。

その他にも、当日発言できなかった方からメッセージカードにて、道路計画やまちづくり事業について

て貴重なご意見やご要望が寄せられました。なお、全体集会の議事録が長後市民センター地域担当窓口で平日の8時30分～17時に閲覧できます。また、郷土づくり推進会議のホームページ（右QRコード）からも議事録の閲覧が可能です。



### 長後地区時事問題講演会

## 日本列島の動きを見張る ～GEONETによる地震・火山活動監視～

2015年10月31日(土)に長後地区時事問題講演会実行委員会主催による講演会を開催いたしました。

講師に、国土地理院・測地観測センターの地震調査官である、檜山洋平氏をお招きし「日本列島の動きを見張る ～GEONETによる地震・火山活動監視～」というテーマで講演をいただきました。

講演では、国土地理院の仕事紹介や地殻変動が起るメカニズム、地殻変動を監視する様々な手段についての説明がありました。

当日は100名近くの方が集まり、熱心に講演を聴かれている姿が見られました。

## 第7回 地産地消のつどい 「長後を食べよう」を開催！

2015年11月14日(土)に7回目となる「長後を食べよう～地産地消のつどい～」を開催しました。当日は雨天で肌寒く一部のイベントを中止するなど先行きが心配されましたが、JAさがみ長後支店との同時開催もあり、地元産の黒米(古代米)入りの藪鼻うどん、黒米パン、黒米クッキーなどが完売いたしました。他に長後商店街の模擬店、藤沢漁協や東北3県の名産品販売アンテナショップの出店協力なども賑わいました。さらにお楽しみビンゴ大会も行い、好評のうち終了いたしました。

地産地消のつどいは、長後地区活性化の一環として企画された事業のひとつです。長後地区は野菜や果物などの一大生産地であり、この農産物を活用して長後の名産品作りに取り組み、特に昨今の健康志向のなかで注目されている、地元農家産の黒米を地元店舗の協力で製品化したものが、藪鼻うどん・黒米パン等です。また、年1回藤沢市立小学校を中心に黒米を炊き込んだ米飯を提供するなど、黒米の普及に努めています。

今後も長後の農産物加工製品を開発し、長後の来街者増加に繋げていくことを目指してまいります。



歩行者天国で賑わった会場

## 平成28年度 長後地区郷土づくり推進会議 新委員を募集!!

- ◎任 期 2年間
- ◎応募資格 次のいずれにも該当する方
  - (1) 長後地区内在住の方
  - (2) 長後市民センター等で開催予定の定例会(月1回開催)に出席が可能な方
  - (3) 本市の常勤の特別職・職員及び議員でない方
- ◎委嘱及び報酬 藤沢市長から委嘱を受ける  
ボランティア(無報酬)
- ◎募集人員 若干名
- ◎応募方法  
応募用紙に必要事項を記入し、持参・郵送・FAX・電子メールのいずれかの方法により長後市民センター地域担当に提出
- ◎応募期間  
平成28年1月27日(水)から2月16日(火)まで  
(期間内必着)  
※持参の場合は、土日・祝日を除く、  
8時30分から17時まで  
※メール: chougo-c@city.fujisawa.kanagawa.jp

## 編 集 後 記

この冬はやけに暖かい。秋が続いているのかと勘違いしそう。エルニーニョの影響だというのが、異常気象は農業・商業・製造業すべてに強い影響を与える。何事も程々がよい。

昨年長後地区全体集会、例年以上に多くの方が参加され、特にこれからの長後の街の在り方に影響する道路計画に強い関心が寄せられた。行政の仕事を後押しするのも市民の役目、関心を持ち続けたいと思う。これに関しては程々でなく。(Y・W)